

13. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

岩崎恭典・高柳英明、「滋賀・米原市庁舎統合案を
採用 検討委、米原駅東口が候補」、京都新聞他、
2014年12月18日

轟慎一、「立体造形 自在な創造」、中日新聞、2014
年6月19日

轟慎一、「新入生作品展『アーキテクト展』」、読売
新聞、2014年6月20日

轟慎一、「入学後初の作品 県立大で展示」、産経新
聞、2014年6月24日

轟慎一、「立体造形 若い感性きらり」、京都新聞、
2014年6月24日

松岡拓公雄、朝日新聞記事 「赤レンガテラス」イ
ンタビュー8月2日朝刊

松岡拓公雄、京都新聞 野洲駅前再開発プロジェク
ト

松岡拓公雄、京都新聞 大津水辺研究シンポジウム
発表会 2月29日

2) TV, ラジオ番組への出演等

松岡拓公雄、NHK「滋賀国体整備に向けて」11月
7日放送

3) その他

生物資源管理学科

1. 受賞

上町達也, 水原有理, 出口佳代子, 新庄康代, 梶
野恵理子, 大場秀章. 園芸学会賞年間優秀論
文賞. 園芸学会. 「Uemachi, T, Y. Mizuhara,
K. Deguchi, Y. Shinjo, E. Kajino and H. Ohba.
2014. Phylogenetic relationship of *Hydrangea*
macrophylla (Thunb.) Ser. and *H. serrata*
(Thunb.) Ser. evaluated using RAPD markers
and plastid DNA sequences. J. Japan. Soc. Hort.
Sci. 83: 163-171.]」

2. 著書

滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会編(2015)
フィールドワーク心得帖 [新版]. 原田英美子,
浦部美佐子, 第8章 レポートの書き方, p89-
107, サンライズ出版, 彦根市.

増田清敬, 林宰司(2015)資料収集の仕方, フィール
ドワーク心得帖 [新版], p33 ~ 42, 滋賀県立大
学環境フィールドワーク研究会(編), サンライズ
出版, 彦根

棚瀬慈朗, 島村一平編(2015) 草原と鉱石. 中澤暦,
永淵修, 岡野寛治, 鉱山開発とヒトへの健康影響,
明石書店, 東京.

Ueda, K (2014). Red Tides and Hypoxia in the sea.
Lambert Academic Publishing, Germany.

今西英雄, 腰岡政二, 柴田道夫, 土井元章編(2014)
花の園芸事典. 上町達也. 第3章1. 細胞・組織形態.
p40-42 および第3章3. 生殖器官と構造植物遺伝
育種学実験法. P53-60, 朝倉書店, 東京.

3. 論文

Kowata, H., N. Yoshiyasu, N. Sakurai, A. Hokura,
Y. Terada, H. Hasegawa and E. Harada (2014)
Radiocesium accumulation in *Egeria densa*,
a submerged plant - possible mechanism of
cesium absorption. Journal of Analytical Atomic
Spectrometry, 29: 868-874.

Suetomi, T., T. Sakamoto, Y. Tokunaga, T.
Kameyama, Y. Honda, H. Kamitsuji, I.
Kameshita, K. Izumitsu, K. Suzuki, T. Irie (2014)
Effects of calmodulin on expression of lignin-
modifying enzymes in *Pleurotus ostreatus*.
Current Genetics DOI 10.1007/s00294-014-0460-z.

- Suzuki, T., Ohta, T., Hiyama, T., Izumi, Y., Mwandemele, O. and Iijima, M. (2014) Effects of the introduction of rice on evapotranspiration in seasonal wetlands. *Hydrol. Process.* 28: 4780-4794.
- Okazaki, Y., Yamane, K., Izumi, Y. and Iijima, M. (2014) Drought, salinity and flooding tolerance of *Oryza sativa*, *Oryza glaberrima* and their interspecific cultivars. *J. Crop Res.* 59: 1-8.
- Kitade, Y., T. Sumita, K. Izumitsu, C. Tanaka (2015) MAPKK-encoding gene *Ste7* in *Bipolaris maydis* is required for development and morphogenesis. *Mycoscience* 56:150-158.
- 吉田裕介, 増田清敬, 山本康貴(2014)有機酪農経営と慣行酪農経営の環境影響比較に関する定量分析－ファーム・ゲート・バランス分析からの接近－, 北海道大学農経論叢 69 : 13-18.
- Akahori, H., Masuda, K., Yoshida, Y., Yamamoto, Y. (2014) Agricultural nutrient balances under a Japan-China-Korea Free Trade Agreement: Nitrogen and phosphorus, *Journal of Rural Problems* 50: 60-64.
- 増田佳昭(2014)「JA 戦犯論」の検証と農業政策の課題, 農業と経済, 2014年7/8月合併号, 15-24.
- 増田佳昭(2014)農協改革の「決着」とJA改革の課題, 農業と経済, 2015年4月号, 15-23.
- 増田佳昭(2014)「世代交代期」に求められる農業政策とは何か－「新たな農業・農村政策」をめぐる論点－, 経営実務, 2014年臨時増刊号, 37-46.
- 増田佳昭(2015)「准組合員」問題にどう対応するか－制度改革の課題とJAの取り組み方向, 経営実務, 2015年1月号, 5-14.
- 皆川明子, 西田一也, 西川弘美(2014)通水状況の違いが農業水路の魚類相に及ぼす影響, 農業農村工学会論文集, 82 : 441-447.
- 皆川明子(2015)水田生態系における魚類の保全, 農業および園芸, 90 : 363-371.
- Nagafuchi, O., K., Nakazawa, K., Okano, K., Osaka, Y., Nishida, N., Hishida (2014) Hydrochemical characteristics of the Mongolian plateau and its pollution levels. *INNER ASIA*, 427-441.
- 山本竜也, 小椋裕之, 田端友樹, 飯村康夫, 清水顕史(2015)水稲インディカ品種 *Kasalath* に由来する2種類の低リン応答性 QTL のコシヒカリへの集積, 作物研究 60.
- Taguchi, T., Miura, Y., Krueger, D., Sugiura, S. (2015) Dispersal, migration, and predation of juvenile crucian carps after release from rice fields. *Environmental Biology of Fishes* 98: 679-690.
- Sugiura S. (2014) Rapid estimation of species-specific DNA digestibility based on differential qPCR. *Fisheries Science* 80: 795-801.
- 鈴木一実, 横山綾, 多々良康香, 谷口拓矢, 小松香織, 加藤春奈, 丹羽日朗, 入江俊一, 泉津弘佑 (2014) ウリ類炭疽病菌における病原性関連遺伝子の機能解析, 植物感染生理談話会論文集, 49 : 11-19.
- 横山綾, 泉津弘佑, 谷口拓矢, 多々良康香, 小玉紗代, 入江俊一, 鈴木一実 (2014) ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子 *CoHox1* の機能解析, 日本植物病理学会報, 80 : 246.
- 谷口拓矢, 加藤春奈, 泉津弘佑, 入江俊一, 久保康之, 鈴木一実 (2014) ウリ類炭疽病菌の Low affinity cAMP phosphodiesterase 遺伝子は病原性発現に重要である, 日本植物病理学会報, 80 : 247.
- 横山綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実 (2015) ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子 *CoHox3* の機能解析, 日本植物病理学会報, 81 : 72.
- Nishida, S., M. M. Kanaoka, K. Hashimoto, K.-I. Takakura and T. Nishida (2014) Pollen-pistil interactions in reproductive interference: comparisons of heterospecific pollen tube growth from alien species between two native *Taraxacum* species, *Functional Ecology* 28: 450-457.
- Nakanishi, K., K.-I. Takakura, R. Kanai, K. Tawa, D. Murakami and H. Sawada (2014) Impacts of environmental factors in rice paddy fields on abundance of the mud snail (*Cipangopaludina chinensis laeta*), *Journal of Molluscan Studies* 80: 460-463
- Kaida, A, H. Kubo, N. Iritani, S. P. Yamamoto, A. Hase, K.-I. Takakura and T. Kageyema (2014) Frequent respiratory viral infections in a young child in a 27-month follow-up study, *JMM Case Reports* doi: 10.1099/jmmcr.0.003020.
- 舟尾俊範, 高倉耕一, 西田隆義, 沢田裕一 (2014) 標識再捕獲調査とベイズモデルによるナマズ *Silurus asotus* の繁殖集団の動態の推定, 魚類学会誌 61: 15-26.
- 西田佐知子, 高倉耕一, 西田隆義 (2014) 伊豆における外来タンポポと在来タンポポ間の繁殖干渉, 日本植物分類学会誌 15: 41-50.
- Ueda, K. (2014) Distribution of Sand Particles

Along the Shoreline of Lake Biwa in Shiga Prefecture and Considerations from Lake Biwa and Seto Inland Sea, Japan, *Current World Environment* 9: 17-26.

Ueda, K. (2015) Influence of Some Soil Characteristics on Defoliation of *Cryptomeria japonica*, *Open Journal of Forestry* 5: 28-37.

Uemachi, T., Y. Mizuhara, K. Deguchi, Y. Shinjo, E. Kajino and H. Ohba (2014) Phylogenetic relationship of *Hydrangea macrophylla* (Thunb.) Ser. and *H. serrata* (Thunb.) Ser. evaluated using RAPD markers and plastid DNA sequences. *J. Japan. Soc. Hort. Sci.* 83: 163-171.

山崎博子, 庭田英子, 伊藤篤史, 上町達也, 石田信昭, 矢野孝喜, 長管香織, 稲本勝彦(2014) くぼみ症の発生を助長するニンニクの収穫後処理条件. *園芸学研究* 13: 169-176.

4. 作品

(なし)

5. 報告書, その他著作, 一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
(なし)

2) 受託研究等の報告書

清水顕史 (2014) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定と DNA マーカーの開発, ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト 平成 26 年度試験研究成績書: 40 ~ 48.

須戸幹 (2014) 河川環境管理財団研究助成報告書, 水田施用殺虫剤・殺菌剤の河川への流出評価手法の開発と流出リスク低減対策.

3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆
(なし)

4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など

増田佳昭 (2014) 直言: 「守り」の論理と「攻め」の論理 - 総合審議会をめぐって -, *地域農業と農協*, 第 44 巻 2 号, 2-3.

増田佳昭 (2014) 地域・支店から「戦略」を考える: 「組合員ばなれ」の直視を, *月刊 JA*, 2014 年 12 月, 14-16.

増田佳昭 (2014) 地域・支店から「戦略」を考える:

農協の競争力をどう考えるか - 協同組合の弱みと強み -, *月刊 JA*, 2015 年 1 月,

増田佳昭 (2015) 地域・支店から「戦略」を考える: 協同組合の二面性をどう考えるか - 「民主的統制」論と「車の両輪」論 -, *月刊 JA*, 2015 年 2 月,

増田佳昭 (2015) 地域・支店から「戦略」を考える: 「組織」と「活動」をどうすすめるか, *月刊 JA*, 2015 年 3 月,

増田佳昭 (2014) 識者の視点 - 自らの改革派 “ 家族農業 ” と “ 地域 ” という前提を忘れてはいけません, *地上*, 2014 年 8 月, 20-23.

増田佳昭 (2014) 規制改革会議農協改革案 - 根柢なく違和感当然, *日本農業新聞*, 2014 年 6 月 6 日.

増田佳昭 (2014) 日本の農業は「世代交代期」 - 家族経営の支援強化を -, *日本農業新聞論点*, 2014 年 6 月 23 日.

増田佳昭 (2014) 暮らしに向けられる「ドリルの刃」, *農業協同組合新聞*, 2014 年 8 月 10 日.

増田佳昭 (2014) 組合員目線から批判を, *農業協同組合新聞*, 2014 年 11 月 20 日.

増田佳昭 (2015) 「農協改革」と JA の課題, *JA 紀南*, No.144, 2015 年 3 月 10 日, 6-8.

増田佳昭 (2015) 書評・フードチェーンと地域再生, *JC 総研レポート*, 2015 年春号, Vol.33, 23.

須戸幹 (2014) 滋賀シンポジウムに寄せて, *水環境学会誌* 38(A)No.1: 1.

6. 学会等への発表

原田英美子, 保倉明子 (2014) 放射光 X 線で読み解く植物の重金属蓄積機構, 第 74 回分析化学討論会, 日本大学, 郡山市 (2014 年 5 月 24 日 ~ 5 月 25 日).

Kosugi, A., J. Tamaru, K. Goto, A. Shimizu, A. Kawabe and E. Harada (2014) Metal accumulation of *Arabidopsis halleri* ssp. *gemmifera* in a limestone mining site. the 8th International Conference on Serpentine Ecology 2014, Kota Kinabalu, Malaysia (2014 年 6 月 9 日 ~ 6 月 13 日).

原田英美子, 木幡光, 浅山拓馬, 永川栄泰, 櫻井昇, 保倉明子, 寺田靖子, 長谷川博 (2014) 沈水植物オオカナダモ (*Egeria densa*) のセシウム吸収 - 野外調査とセシウムの個体内分布のイメージング -, *日本植物学会第 78 回大会*, 明治大学, 川崎市 (2014 年 9 月 12 日 ~ 9 月 14 日).

浅山拓馬, 白木望美, 井上翔太, 奥田絵里奈, 原田英美子, 長谷川博 (2014) 沈水植物オオカナダモ

- (*Egeria densa*) の Mn 集積機構の解明, 日本植物学会第 78 回大会, 明治大学, 川崎市(2014 年 9 月 12 日~9 月 14 日).
- 原田英美子, 稲田和幸, 森卓弥, 木村ひろみ, 庄美冴子, 竹中千里, 富岡利恵, 保倉明子, 寺田靖子, 水野隆文 (2014) 木本植物におけるストロンチウム (Sr) 蓄積機構, 明治大学, 川崎市(2014 年 9 月 12 日~9 月 14 日).
- 小杉重希, 田丸潤, 後藤和美, 清水顕史, 河邊昭, 原田英美子 (2014) ハクサンハタザオ (*Arabidopsis halleri* ssp. *gemmaifera*) とその近縁植物を用いた重金属超集積機構の解明に向けての研究, 近畿作物・育種研究会第 178 回例会, 京都府立大学, 京都市(2014 年 11 月 22 日).
- 原田英美子, 庄美冴子, 木村ひろみ, 森卓弥, 稲田和幸, 竹中千里, 富岡利恵, 保倉明子, 寺田靖子, 水野隆文 (2015) ヤナギ (*Salix* spp.) 樹皮におけるストロンチウム含有結晶の生成機構, 日本農芸化学会 2015 年度大会, 岡山大学, 岡山市(2015 年 3 月 26 日~3 月 29 日).
- 吉竹晋平, 吉竹彩子, 飯村康夫, 大塚俊之(2015) 冷温帯落葉広葉樹林における窒素無機化速度の時空間変動, 第 62 回日本生態学会大会, 鹿児島市(2015 年 3 月 18 日~3 月 22 日).
- 鈴木智之, 井田秀行, 小林元, 高橋耕一, Nam-Jin Noh, 村岡裕由, 廣田充, 清野達之, 鈴木亮, 田中健太, 飯村康夫, 角野智詞, 丹羽滋, 日浦勉(2015) Tea Bag を用いた分解活性指標: 標高・土壌温暖化・リター量処理の影響, 第 62 回日本生態学会大会, 鹿児島市(2015 年 3 月 18 日~3 月 22 日).
- 大塚俊之, 友常満利, 飯村康夫, 藤嶽暢英, 金城和俊(2015) 石垣島吹通川河口のマングローブ林の構造と純一次生産, 第 62 回日本生態学会大会, 鹿児島市(2015 年 3 月 18 日~3 月 22 日).
- 西村貴皓, 飯村康夫, 井田秀行, 廣田充(2015) 成熟林では林冠構造によって土壌呼吸の日変化の制御要因が異なる - カヤノ平ブナ成熟林における研究 -, 第 62 回日本生態学会大会, 鹿児島市(2015 年 3 月 18 日~3 月 22 日).
- 廣田充, 飯村康夫, 岸本文紅, 大浦典子, 内田雅己, 中坪孝之(2014) 高緯度北極湿原における群集レベルの CO₂ フラックス特性と炭素吸収量の推定, 第 5 回極域科学シンポジウム, 東京(2014 年 12 月 2 日~12 月 5 日).
- Uchida, M., M. Hirota, Y. Iimura, A.M. Kishimoto, N. Oura and T. Nakatsubo (2014) Spatial variability of CO₂ flux at moss tundra in Ny-Alesund, Norway, Polar Ecology Conference, České Budějovice, Czech Republic, (2014 年 9 月 21 日~9 月 24 日).
- 大塚俊之, シュワポリポント ビラニー, 飯村康夫, 吉竹晋平(2014) 白山山麓のブナ原生林における土壌呼吸の時間的・空間的変動, 日本地球惑星科学連合 2014 年大会, 千葉(2014 年 4 月 28 日).
- 飯村康夫, 内田昌男, 近藤美由紀(2014) 林地化に伴う黒色土壌有機物動態, 第 5 回極域科学シンポジウム, 日本地球惑星科学連合 2014 年大会, 千葉市(2014 年 5 月 1 日).
- 入江俊一, 塚本梨恵, 岡村沙樹, 本田与一, 泉津弘佑, 鈴木一実 (2014) ヒラタケにおける PKA 触媒サブユニット遺伝子の過剰発現, 日本菌学会第 58 回大会, 小松市(2014 年 6 月 14 日~6 月 15 日).
- Irie, T., T. Suetomi, T. Sakamoto, Y. Tokunaga, Y. Honda, H. Kamitsuji, I. Kameshita, K. Izumitsu and K. Suzuki (2014) Effects of CaM on Manganese Peroxidase Expression in *Pleurotus ostreatus*. IMC10: The 10th International Mycological Congress, Bangkok, Thailand(2014 年 8 月 3 日~8 月 8 日).
- 豊川知華, 菖蒲心咲, 本田与一, 上辻久敏, 泉津弘佑, 鈴木一実, 入江俊一 (2014) PKAc 過剰発現はヒラタケのリグニン分解速度を増加させる, 日本きのこ学会 25 周年記念大会, 京都市(2014 年 9 月 10 日~9 月 12 日).
- Irie, T., C. Toyokawa, M. Shobu, R. Tsukamoto, S. Okamura, Y. Honda, H. Kamitsuji, K. Izumitsu and K. Suzuki (2015) Overexpression of PKAc genes enhanced lignin degradation in the white-rot fungus *Pleurotus ostreatus*. IAWPS2015: International Symposium on Wood Science and Technology, Tokyo Japan(2015 年 3 月 15 日~3 月 17 日).
- 岩間憲治, 野田一志, 池浦康広, 小谷あゆみ(2014) 水田及び転換畑における地下水位制御システム (FOEAS) の実態調査, 農業土木学会京都支部第 71 回研究発表会, 岐阜市(2014 年 11 月 13 日).
- 岩間憲治, 辻裕奈, 中村公人, 大塚瑠香, 橋本慧子 (2014) 扇状地内の水利環境の違いが水収支・物質収支に与える影響, 平成 26 年度農業農村工学会大会講演会, 新潟市(2014 年 8 月 28 日).
- Izumi, Y., Awala, S., Tonomura, T., Okazaki, Y. and Iijima, M. (2014) Rice, pearl millet, and sorghum multiple cropping trials at sloped FOEAS field in Shiga, Japan. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium

- 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- Awala, S., Izumi, Y., Fujioka, Y., Yamane, K., Mwandemele, O. and Iijima, M. (2014) Growth of mixed-cropped pearl millet, sorghum and rice in the model sloped field with both wetland and upland environments in semiarid north-central Namibia. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- Awala, S., Izumi, Y., Fujioka, Y., Nanhapo, P., Mwandemele, O. and Iijima, M. (2014) Rice production trials in farmers fields in north-central Namibia. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- Awala, S., Ausiku, P., Izumi, Y., Fujioka, Y., Yamane, K., Watanabe, Y., Mwandemele, O. and Iijima, M. (2014) Soil fertility of seasonal wetland in Northern Namibia. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- Okazaki, Y., Yamane, K., Iijima, M. and Izumi, Y. (2014) Drought and Flooding resistance of *Oryza sativa*, *Oryza glaberrima* and their interspecific progenies. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- Okazaki, Y., Yamane, K., Iijima, M. and Izumi, Y. (2014) Mix-cropping with salt tolerant plant species can relieve rice growth from salinity stress. SATREPS Rice-Mahangu Project International Symposium 2014 "Agricultural Use of Seasonal Wetlands in Southern Africa", Windhoek, Namibia(2014年9月8日～9月9日).
- 札瑛喜嗣, 杉山高世, 大門弘幸, 泉泰弘, 山根浩二, 飯嶋盛雄(2015), 不耕起条件下におけるダイズ根粒着生制御:水田転換畑における多段式亀裂形成, 炭, 根粒菌投与が収量に及ぼす影響, 日本作物学会第239回講演会, 藤沢市(2015年3月27日～3月28日).
- 泉津弘佑, 宮川恒, 田中千尋(2014)全ゲノム手法を用いた殺菌剤耐性点の網羅的同定, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 横山綾, 泉津弘佑, 谷口拓矢, 多々良康香, 小玉紗代, 入江俊一, 鈴木一実(2014)ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子 CoHox1 の機能解析, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 谷口拓矢, 加藤春奈, 泉津弘佑, 入江俊一, 久保康之, 鈴木一実(2014)ウリ類炭疽病菌の low affinity cAMP phosphodiesterase 遺伝子は病原性発現に重要である, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 北出雄生, 泉津弘佑, 住田卓也, 湯谷智, 田中千尋(2014)トウモロコシごま葉枯病菌の2種類の低分子量 GTPase, Cdc42 および Rac1 は正常な病原性発現や分生子形成に必須である, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 升本宙, 泉津弘佑, 北出雄生, 田中千尋(2014)殺菌剤ポリオキシシン耐性遺伝子の同定, 第14回糸状菌分子生物学コンファレンス, 仙台市(2014年11月15日～11月16日).
- 住田卓也, 泉津弘佑, 田中千尋(2014)灰色かび病菌における 26S プロテアソームサブユニット RPN10 ホモログの解析, 第14回糸状菌分子生物学コンファレンス, 仙台市(2014年11月15日～11月16日).
- 北出雄生, 泉津弘佑, 住田卓也, 田中千尋(2014)トウモロコシごま葉枯病菌の CHK1 MAPK 経路の推定上流因子の機能解析, 第14回糸状菌分子生物学コンファレンス, 仙台市(2014年11月15日～11月16日).
- 田中千尋, 吉田裕史, 八木貴史, 泉津弘佑, 宮川恒(2015)Tolnifanide 耐性遺伝子の解析, 日本農薬学会第40回大会, 町田市(2015年3月18日～3月20日).
- 吉田裕史, 泉津弘佑, 田中千尋(2015)トウモロコシごま葉枯病菌の浸透圧ストレス応答シグナル伝達系における推定リン酸基転移酵素 Hpt1 の欠損と殺菌剤作用日本農薬学会第40回大会, 町田市(2015年3月18日～3月20日).
- 住田卓也, 泉津弘佑, 田中千尋(2015)灰色かび病菌とウリ類炭疽病菌の 26S プロテアソームサブユニット RPN10 ホモログは病原性に関与する, 日本植物病理学会創立100周年記念大会, 千代田区

- (2015年3月28日～3月31日).
- 増田清敬(2014)水稲の減農薬栽培導入に関する経営的・環境的評価, 第29回報農会シンポジウム, 東京都北区(2014年9月30日).
- 増田清敬(2014)LCAとDEAの統合手法を用いた田作および畑作小麦の環境効率分析, 平成26年度日本農業経営学会研究大会, 東京都文京区(2014年9月19日～9月20日).
- 芝田育帆, 肥田嘉文, 増田清敬, 寄本明(2015)10代における体の特徴および痛みの自覚症状とスポーツ経験, 京都滋賀体育学会第144回大会, 京都市(2015年3月7日).
- 皆川明子, 堀田裕史, 小関右介, 守山拓弥, 鈴木正貴(2014)水田の中干し時におけるキタノメダカの位置と降下の関係, 農業農村工学会全国大会, 新潟市(2014年8月26日～8月29日).
- 山本達也, 皆川明子(2014)圃場整備事業において導入された環境配慮施設について－三重県松阪市の事例－, 農業農村工学会京都支部第71回研究発表会, 岐阜市(2014年11月13日).
- Okano, K. (2015) Improving nutritive value of underutilized feed resources for ruminant by culturing with white-rot fungi, The 6th International Science, Social Sciences, Engineering and Energy Conference, Udon Thani, Thailand(2014年12月17日～12月19日)
- 清水顕史(2014) Rを使用した遺伝情報解析方法. 第32回日本植物細胞分子生物学会, 盛岡市(2014年8月22日).
- 高野知之, 清水顕史, 他13名(2014) 遺伝子発現ネットワークの種間比較と高信頼度アノテーションの統合データベース, 日本育種学会第126回講演会, 都城市(2014年9月26日～9月27日).
- 山本竜也, 小梶裕之, 田端友樹, 清水顕史(2014) 低リン応答性QTLのコシヒカリへのピラミディング, 近畿作物・育種研究会第178回講演会, 京都市(2014年11月22日).
- 田端友樹, 藤田楓加, 山崎将紀, 清水顕史(2015) 日本イネ集団を用いた, 低リン耐性関連形質のゲノムワイド関連解析1. 根分泌物による不可給態リンの可溶化, 日本育種学会第127回講演会, 町田市(2015年3月21日～3月22日).
- 西村美咲, 須戸幹(2014)水田施用除草剤の一筆水田からの浸透流出特性と農薬の物性との関係, 第32回農薬環境科学研究会シンポジウム, 焼津市(2014年11月20日).
- 南川拓也, 山田菜由子, 須戸幹(2015)降雨時における水田施用殺虫剤の流出負荷, 第49回日本水環境学会年会, 金沢市(2015年3月16日～3月18日).
- 施君, 村山祥, 須戸幹(2015)琵琶湖北湖における残留農薬成分の動態解析, 第49回日本水環境学会年会, 金沢市(2015年3月16日～3月18日).
- 久保明日香, 川崎悦子, 中田俊芳, 井上莉沙, 鎌田素之, 須戸幹(2015)第49回日本水環境学会年会, 金沢市(2015年3月16日～3月18日).
- Tanemura, N., T. Watanabe, Y. Akiyoshi, K. Okano and S. Sugiura (2014) Effects of *in vitro* digestion of rapeseed meal, soybean meal, macrophyte, and marine alga with cellulase, hemicellulase, multi-enzyme mix, and three species of white-rot fungi evaluated based on *in vivo* digestibilities of protein, fiber, organic matter, phosphorus, and trace minerals in rainbow trout. 16th International Symposium on Fish Nutrition and Feeding, Cairns, Australia(2014年5月25日～5月30日).
- Sugiura, S. (2014) Rapid estimation of species-specific DNA digestibility based on differential qPCR. 16th International Symposium on Fish Nutrition and Feeding, Cairns, Australia(2014年5月25日～5月30日).
- 杉浦省三, 向井詩穂子, 山中麻帆(2015)フナの体高を高くする飼料の開発. 平成27年度日本水産学会春季大会, 東京都港区(2015年3月27日～3月31日).
- 中島麻衣, 渡辺貴史, 種村尚幸, 杉浦省三(2015)ニジマスとコイにおけるナトリウムの飼料添加効果. 平成27年度日本水産学会春季大会, 東京都港区(2015年3月27日～3月31日).
- 横山綾, 泉津弘佑, 谷口拓矢, 多々良康香, 小玉紗代, 入江俊一, 鈴木一実(2014)ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子CoHox1の機能解析, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 谷口拓矢, 加藤春奈, 泉津弘佑, 入江俊一, 久保康之, 鈴木一実(2014)ウリ類炭疽病菌のLow affinity cAMP phosphodiesterase 遺伝子は病原性発現に重要である, 平成26年度日本植物病理学会大会, 札幌市(2014年6月2日～6月4日).
- 横山綾, 泉津弘佑, 入江俊一, 鈴木一実(2014)ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子CoHox3の機能解析, 平成26年度日本植物病理学会関西支部会, 富山市(2014年9月27日～9月28日).
- 高倉耕一(2014)外来種との遭遇で浮かび上がる種

- 内の性的対立－繁殖干渉・局所絶滅・生息地転換－，日本進化学会第16回大阪大会ワークショップ適応進化の視点から高次の生態学的動態を再考する，高槻市(2014年8月21日～8月24日)。
- 木村篤史，畠山理沙，天辰健一，真田秀一，阿部拓人，高倉耕一(2014)大阪市内における屋外生活猫の個体数及び分布の推定について，平成26年度獣医学術近畿地区学会，堺市(2014年10月12日)。
- 高倉耕一，来田村輔，塚田森生，藤井暢之，本間淳，西田隆義，沢田裕一(2014)インドネシア・ジャワ島における *Bactrocera* 属ミバエの主要害虫2種のLAMP法による判別法，第26回日本環境動物昆虫学会年次大会，長崎市(2014年11月29～11月30日)。
- 古川真莉子，高倉耕一，本間淳，中西康介，松山和世，日高直哉，沢田裕一，西田隆義(2014)ヒロヘリアオイラガとイラガの繭期の捕食圧の比較－みためとかたさ，どちらが重要か？，第26回日本環境動物昆虫学会年次大会，長崎市(2014年11月29日～11月30日)。
- 日高直哉，藤井暢之，Sujiono，高倉耕一，沢田裕一(2014)インドネシア・ジャワ島におけるミカンコミバエ種群，*B. carambolae* と *B. papayae* の季節消長および寄主利用，第26回日本環境動物昆虫学会年次大会，長崎市(2014年11月29日～11月30日)。
- 東原諒，高倉耕一(2014)シカの土地利用頻度とダニ個体数密度の関係，第26回日本環境動物昆虫学会年次大会，長崎市(2014年11月29日～11月30日)。
- 高橋佑磨，高倉耕一，河田雅圭(2015)色彩特異的な繁殖干渉がもたらす花色の空間パターン，日本植物分類学会第14回大会，福島市(2015年3月5日～3月8日)。
- 西田佐知子，高倉耕一，西田隆義(2015)伊豆タンポポの繁殖干渉，日本植物分類学会第14回大会，福島市(2015年3月5日～3月8日)。
- 竹森朱音，内貴章世，金岡雅浩，西田佐知子，高倉耕一(2015)タンポポにおける繁殖干渉－花粉干渉が結実に与える影響を個体レベルで検証する，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 吉崎雄宏，高倉耕一，西田佐知子，西田隆義(2015)センダングサはなぜいなくなったのか－標本データから分布変遷を推定する－，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 高倉耕一，弓削侑記，照井佳祐，内貴章世(2015)在来種ホトケノザは近縁外来種ヒメオドリコソウから繁殖干渉を受けない？，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 渡部俊太郎，高倉耕一，西田隆義(2015)スミレ属2種における生活史特性と種間相互作用，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 中野光議，山本達也，高倉耕一，浦部美佐子(2015)平野部の農業用水路におけるイシガイ科二枚貝類に物理環境と水田が与える影響，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 古川真莉子，高倉耕一，本間淳，西田隆義(2015)イラガのまゆの模様は鳥にとって隠蔽的か？，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 古川真莉子，高倉耕一，本間淳，西田隆義(2015)イラガのまゆの隠蔽度を仮想捕食実験によって検証する，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 本間淳，高倉耕一，中西康介，西田隆義(2015)トノサマガエル－ダルマガエルの繁殖干渉が両種の分布と遺伝子浸透に与える影響－シミュレーションモデルによる解析－，第62回日本生態学会，鹿児島市(2015年3月18日～3月22日)。
- 吉崎雄宏，高倉耕一，西田佐知子，西田隆義(2015)ジェネラリスト送粉昆虫が駆動する近縁雑草の駆逐は特定の順序に従うか？，第59回日本応用動物昆虫学会大会，山形市(2015年3月26日～3月28日)。
- 本間淳，藤井暢之，日高直哉，来田村輔，スジオノ，高倉耕一，塚田森生，西田隆義，沢田裕一(2015)インドネシアジャワ島におけるミバエ2種 *Bactrocera carambolae* と *B. papayae* の発生消長と寄主利用パターン，第59回日本応用動物昆虫学会大会，山形市(2015年3月26日～3月28日)。
- 来田村輔，塚田森生，藤井暢之，日高直哉，本間淳，高倉耕一，西田隆義，沢田裕一(2015)ジャワ島に生息するミカンコミバエ2種間の繁殖干渉，第59回日本応用動物昆虫学会大会，山形市(2015年3月26日～3月28日)。
- 藤井暢之，来田村輔，本間淳，高倉耕一，塚田森生，沢田裕一，西田隆義(2015)寄主植物の違いが検疫害虫であるミバエ類 *Bactrocera carambolae* と *B. papayae* の発育に与える影響，第59回日本応用動物昆虫学会大会，山形市(2015年3月26日～3月28日)。
- 上町達也，柴田彩佳，竹内俊輝(2015)フローサイトメトリーによるガクアジサイとヤマアジサイ

の核 DNA 含量の比較, 園芸学会平成 27 年度春期大会, 千葉市(2015 年 3 月 28 日～3 月 29 日).

中川拓人, 小倉伸介, 肥田嘉文, 上町達也 (2015) 野菜がもつ変異原性と栽培環境要因, 第 49 回日本水環境学会, 金沢市(2015 年 3 月 16 日～3 月 18 日).

上町達也, 樹下真人, 柴田彩佳 (2014) 伊豆半島に自生するガクアジサイ及びヤマアジサイの ITS 配列に基づいた系統解析, 園芸学会平成 26 年度秋季大会, 佐賀市(2014 年 9 月 27 日～9 月 29 日).

Uemachi, T., M. Kinoshita, N. Hashii (2014). The origin of old hydrangea cultivars inferred by ITS sequences data, 29th International Horticultural Congress, Brisbane, Australia (2014 年 8 月 17 日～8 月 22 日).

藤原海, 南川久人, 上町達也, 安田孝宏, 栗本遼, 渡辺廉太郎 (2014) マイクロバブルがトマトの生育に与える影響, 日本混相流学会混相流シンポジウム 2014, 札幌市(2014 年 7 月 28 日～7 月 30 日).

7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表

1) 研究会等における発表

原田英美子 (2014) 分光分析法を用いた水生植物の元素集積機構の解明－生物資源の有効利用に向けて－プラズマ分光分析研究会 第 92 回講演会, 福岡市(2014 年 10 月 10 日)

Harada E. (2014) Tissue distribution of strontium in woody heavy metal accumulators. Joint seminar with the researchers from the Finnish Forest Research Institute, 名古屋大学, 名古屋市(2014 年 10 月 17 日).

原田英美子, 浅山拓馬, 西田和真, 辻康介, 長谷川博 (2014) 琵琶湖水圏の水生植物オオカナダモの Mn 蓄積性, 第 12 回 いしでら まちづくり勉強会, 彦根市(2014 年 11 月 16 日).

原田英美子 (2014) 生命科学分野における研究不正の実際とその対策, JSA 科学者の権利問題委員会・ミニシンポジウム『研究不正の現場と対策を考える』東京都文京区(2014 年 12 月 20 日).

原田英美子, 浅山拓馬, 西田和真, 辻康介, 長谷川博 (2015) 琵琶湖水圏の水生植物オオカナダモの Mn 蓄積性, 第 13 回 いしでら まちづくり勉強会, 彦根市(2015 年 3 月 22 日).

原田英美子 (2015) 琵琶湖水圏における水生植物の重金属集積とその有効利用, 東京電機大学分析化学研究室特別セミナー, 東京電機大学, 東京都足立区(2015 年 3 月 24 日).

増田佳昭 (2014)「農協改革論」の本質と JA ガバナンスのあり方, 近畿農協研究会, 奈良市(2014 年 7 月 19 日)

増田佳昭 (2014)「農協改革」をめぐって－農協像を考える－, 農中総研, 東京都(2014 年 9 月 22 日).

清水顕史 (2015) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定と DNA マーカーの開発 (LCT0005), 平成 25 年度次世代ゲノムプロジェクト, 東京都文京区, (2015 年 1 月 17 日).

須戸幹 (2014) 水田施用殺虫剤・殺菌剤の河川への流出評価手法の開発と流出リスク低減対策, 平成 26 年度 d 河川整備基金助成事業成果発表会, 東京都(2014 年 7 月 29 日).

杉浦省三 (2014) フィールドワークと生物実験, The Great Lakes Shiga Exchange Program (ミシガン交流プログラム), 滋賀県立大学と周辺水域(2014 年 8 月 25 日).

今井良政, 塚田匡輝, 殿山泰弘, 河内浩行, 杉浦省三, 堀伸明, 眞田的貴, 川瀬利弥, 岡郷平, 清水淑子, 清水信義 (2014) ビワマスプロジェクト～養殖ビワマスの脂のりを良くする飼料開発～, びわ湖環境ビジネスメッセ 2014, 長浜市(2014 年 10 月 22 日～24 日).

鈴木一実, 横山綾, 多々良康香, 谷口拓矢, 小松香織, 加藤春奈, 丹羽日朗, 入江俊一, 泉津弘佑 (2014) ウリ類炭疽病菌における病原性関連遺伝子の機能解析, 平成 26 年度植物感染生理談話会, 仙台市(2014 年 8 月 6 日～8 月 8 日).

横山綾, 泉津弘佑, 谷口拓矢, 多々良康香, 小玉紗代, 入江俊一, 鈴木一実 (2014) ウリ類炭疽病菌におけるホメオボックス転写因子の機能解析, 平成 26 年度植物感染生理談話会, 仙台市, (2014 年 8 月 6 日～8 月 8 日).

2) 講演会

泉津弘佑 (2015) 外生菌根共生の分子メカニズムの解明を目指して, 第 4 回滋賀バイオプロジェクト創出サロン, 大津市(2015 年 3 月 16 日)

飯村康夫 (2014) バイオチャーを用いた水田稲作農法とは(滋賀県立大学シーズ発表会), 草津市(2014 年 11 月 27 日)

増田佳昭 (2014) 協同組合の課題・展望, 国際協同組合デー京都集会, 京都市(2014 年 7 月 9 日).

高倉耕一 (2014) 生物調査の計画とデザイン, 第 24 回環境アセスメント動物調査手法講演会, 大阪市(2014 年 6 月 28 日).

3) 授業

飯村康夫(2014)土壌を化学的に見てみよう, 滋賀県立大学・虎姫高等学校高大連携事業, 滋賀県立大学(2014年7月22日).

入江俊一(2013)DNAの切断, 結合, 大腸菌の形質転換. 滋賀県立大学・虎姫高等学校高大連携事業. 滋賀県立大学(2013年8月20日).

皆川明子(2014)環境配慮工法を開発しよう!, 高大連携セミナー, 滋賀県立大学(2014年7月28日).

清水顕史(2014)京都大学集中講義「バイオインフォマティクス」, 京都大学, 2014年9月16日~18日.

鈴木一実(2014)植物の病気, 平成26年度滋賀県立大学春期公開講座, 滋賀県立大学(2014年5月17日).

鈴木一実(2014)植物の病気, 平成26年度高大連携セミナー, 滋賀県立大学(2014年8月5日).

8. 展覧会等

(なし)

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

泉津弘佑. 特別研究, アカマツ-ホンシメジをモデルとした外生菌根共生メカニズムの解明, 平成25~26年度, 51.2万円.

2) 科学研究費補助金

原田英美子, 長谷川博. 水生植物における重金属の吸収機構と体内挙動の解明および水圏環境浄化への応用, 基盤研究(C), 平成24~26年度, 平成26年度45万円.

水野隆文, 竹中千里, 富岡利恵, 原田英美子. ウコギ科植物における金属集積機構の解明と放射性ストロンチウム除去技術への応用, 基盤研究(B), 平成24~26年度, 平成26年度181万円.

廣田充, 飯村康夫, 井田秀行. ギャップモザイク構造を考慮した成熟林の炭素吸収能力の再評価, 基盤研究(B), 平成24~26年度, 平成26年度, 10万円.

飯村康夫. 多様な土壌炭素の分解反応に及ぼすプライミング効果の定量的評価, 若手研究(B), 平成25~26年度, 平成26年度, 163万円.

飯嶋盛雄, 大門弘幸, 泉泰弘, 村上則幸, 辻弘幸, 杉山高世, 山根浩二, ダイズ子実への持続的な窒素供給を目指した根粒着生制御理論の提案, 基

盤研究(B), 平成25年~平成27年度, 52万円.
飯嶋盛雄, 西川芳昭, 檜山哲哉, 太田岳史, 泉泰弘, 山根浩二, 阿部進, 藤岡悠一郎, 鈴木哲司, Kanyomeka, L., Mwandemele, O., Awala, S., Nanhapo, P., Ausiku, P., Lwiinga, T., Kompeli, P., 半乾燥地の水環境保全を目指した洪水-干ばつ対応農法の提案(生物資源分野研究領域「生物資源の持続可能な生産・利用に資する研究」), 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS), JICAおよびJST, 平成24年~平成28年度, 104万円.

泉津弘佑. 植物病原菌ゲノミクス手法を用いた殺菌剤作用点同定基盤の確立およびその応用, 研究活動スタート支援, 平成25~26年度, 130万円.

山本康貴, 近藤巧, 齋藤久光, 近藤功庸, 増田清敬. 農産物貿易自由化が環境に及ぼす影響の総合研究: 農産物貿易交渉力の強化に向けて, 基盤研究(A), 平成26~29年度, 100万円.

小林久, 前田滋哉, 野田浩二, 皆川明子. 量・質・エネルギー・環境を考慮した水利用の評価手法と合理的な水利調整の開発, 平成26年~29年度, 120万円.

清水顕史. 貧栄養ストレス耐性イネ品種開発のためのゲノム解析, 基盤研究(C), 平成26~28年度, 平成26年度, 220万円.

鈴木一実, 泉津弘佑. 植物病原菌類におけるホメオボックス遺伝子の機能解析, 基盤研究(C), 平成26~28年度, 208万円.

高倉耕一, 内貴章世. 自家受粉依存を高める在来種: 外来種からの繁殖干渉と遺伝的多様性低下の検証, 基盤研究(C), 平成25~28年度, 143万円.

沢田裕一, 西田隆義, 塚田森生, 高倉耕一. 検疫害虫ミバエ類の原産地における生態特性と種間関係: 繁殖過程と寄主選択からの解明, 基盤研究(B) (海外学術調査), 平成25~29年度, 377万円.

上町達也. アジサイ属日本固有種の未利用遺伝資源を活用した耐候性育種素材の開発, 基盤研究(C) 平成24-26年度, 平成26年度120万円.

3) 政府および地方公共団体(関連法人を含む)からの補助金
(なし)

4) その他財団からの研究補助金

飯村康夫. 公益財団法人日本生命財団, バイオ炭を用いた水田稲作農法の科学的検証-高生産性と環境負荷低減の両立は可能か?- , 平成26~27年度, 平成26年度, 80万円

岩間憲治. 屋根瓦粉碎物のリサイクル商品の開発, 平成 26 年度中小企業新技術開発プロジェクト補助金, 平成 26 年度, 100 万円.

清水顕史. 農林水産省・ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト (LCT0005) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定と DNA マーカーの開発, 平成 25 ~ 29 年度, 平成 26 年度, 450 万円.

須戸幹. 財団法人河川環境管理財団, 残留実態が明らかでない農薬成分の湖沼(琵琶湖)での残留リスク評価および発生源と浄水過程におけるリスク軽減対策, 平成 26 ~ 28 年度, 190 万円.

5) 受託研究の受け入れ

岩間憲治. ジオライム S の基礎研究, 矢橋工業株式会社, 平成 26 年度, 60 万円.

10. 研究員の受入

(なし)

11. 特許, 実用新案, 品種登録, 意匠, その他著作権に関わる事項

入江俊一, 矢尾祐樹, 阪本鷹行, 鈴木一実 (2014), 公開番号 (2014-108103), 真正担子菌のラッカーゼ生産能を増加させる方法

杉浦省三, 岡野寛治 (2015) 養魚用の配合飼料の原料及びその製造方法. 特願 2015-59245.

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

入江俊一, 滋賀県バイオビジネスサロン, 運営委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2014 年 3 月)

増田佳昭 (2014) 農協職員資格認証試験委員会, 委員長, 近畿地区 6 府県農業協同組合中央会.

増田佳昭 (2014) 農協監査士試験委員会, 委員, 全国農業協同組合中央会.

増田佳昭 (2014) 滋賀県立大学生生活協同組合, 副理事長.

増田佳昭 (2014) 大津市公設地方卸売市場運営協議会, 委員長.

増田佳昭 (2014) 京都市中央卸売市場第 2 市場運営協議会, 委員.

増田佳昭 (2014) こだわり滋賀ネットワーク, 幹事, 皆川明子, 米原市環境審議会, 委員, 3 回 (2014 年 6 月 ~ 2015 年 3 月).

皆川明子, 滋賀県農村振興交付金制度審議会, 委員, 2 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

皆川明子, 北陸農政局国営事業の環境に係る情報協議会, 委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

皆川明子, 滋賀県豊かな生きものを育む水田づくり懇話会, 委員.

皆川明子, 農林水産省環境配慮施設の効果的な配置手法検討委員会, 委員, 6 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

皆川明子, 下鶴井地区圃場復元検討会, 委員, 近畿地方整備局豊岡国道事務所, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 環境省水産動植物登録保留基準設定検討会, 委員, 5 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 農薬残留対策総合調査水質農薬残留調査検討会, 委員, 2 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 環境省 PRTR 非点源排出量推計方法検討会 委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 近畿農政局農業農村整備事業等事業評価技術検討会, 委員, 5 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 滋賀県みずすまし会議みずすまし専門部会 (水質保全専門部会), 部会員, 0 回 (2015 年 1 月 ~ 3 月).

須戸幹, 滋賀県赤野井湾流域協議会, 委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 滋賀県リサイクル製品認定懇話会, 委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 大津市環境審議会 委員, 1 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月).

須戸幹, 膳所高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会, 委員, 3 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月)

須戸幹, 2014 青少年のための科学の祭典滋賀大会, 副実行委員長, 5 回 (2014 年 5 ~ 11 月).

鈴木一実 (2014) 湖南省環境審議会委員, 2 回 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月)

鈴木一実 (2014) 滋賀県農林水産関係試験研究外部評価委員, 1 回 (2014 年 9 月 ~ 2015 年 3 月)

2) 学会貢献

入江俊一 (2014) 日本きのこ学会 25 周年記念大会実行委員 (2014 年 4 月 ~ 2014 年 9 月 12 日)

岩間憲治, 農業農村工学会京都支部代表幹事 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月)

増田清敬, 地域農林経済学会近畿支部理事 (2014 年 4 月 ~ 10 月)

増田清敬, 地域農林経済学会編集担当常任理事 (2014 年 4 月 ~ 2015 年 3 月)

増田佳昭(2014)地域農林経済学会, 会長.
増田佳昭(2014)近畿農業協同組合研究会, 運営委員.
増田佳昭(2014)くらしと協同の研究所, 研究委員.
皆川明子, 農業農村工学会, 学会誌企画・編集委員会委員(2014年4月～2015年3月)
皆川明子, 農業農村工学会, 研究委員会委員(2014年4月～2015年3月)
清水顕史(2014) 日本育種学会幹事
清水顕史(2014) 近畿作物育種研究会評議委員
鈴木一実(2014) 関西病虫害研究会編集委員(2014年4月～2015年3月)
鈴木一実(2014) 関西病虫害研究会評議員(2014年4月～2015年3月)
須戸幹, 日本水環境学会, 水環境学会誌編集委員会, 委員(2014年4月～2015年3月).
須戸幹, 第17回日本水環境学会シンポジウム, 実行委員会, 委員長(2014年4月～2014年11月).
高倉耕一, 日本環境動物昆虫学会, 編集委員(2014年4月～2014年12月).
高倉耕一, 日本環境動物昆虫学会, 編集幹事(2015年1月～2015年3月).
高倉耕一, 日本環境動物昆虫学会, 評議員(2014年11月～2015年3月).
高倉耕一, 日本環境動物昆虫学会, 理事(2014年11月～2015年3月).
上町達也(2013)・園芸学会近畿支部評議員会 1回

3) 国際貢献
(なし)

4) その他

原田英美子(2014)京都大学生態学研究センター協力
研究員

13. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

増田佳昭(2015)＜考論＞反 TPP の全中に打撃, 朝日新聞, 2015年2月10日.

2) TV, ラジオ番組への出演等

増田佳昭(2014)激論コロシウム・どうなる日本の農協・農業, テレビ愛知, 2014年7月5日放送.

増田佳昭(2015)情報ライブミヤネ屋ー農協改革, 2015年2月19日放送.